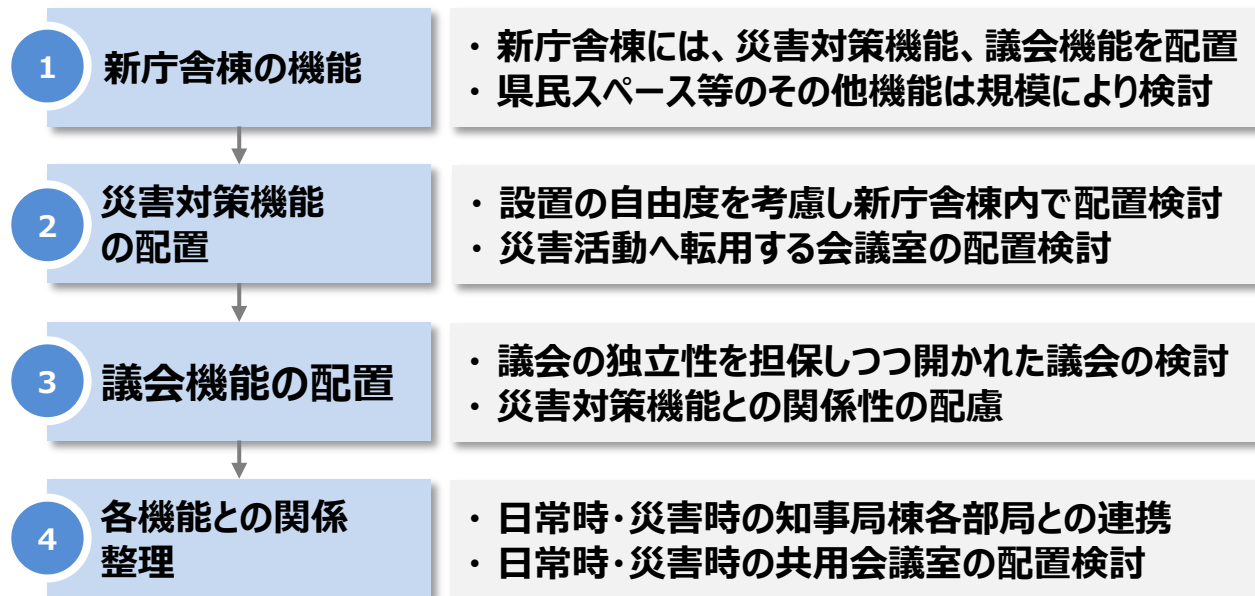


新庁舎棟の整備方針

新庁舎棟の整備方針の検討フロー

- 新庁舎棟の整備方針について、以下の流れで検討を行う。

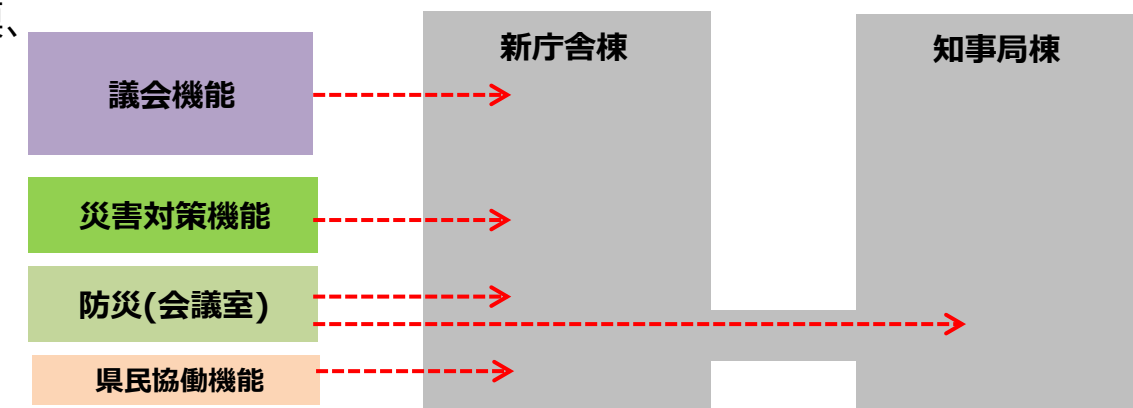


今後の検討

- 各機能の**必要諸室面積**より、**規模を検討**
- 災害時に執務室となる**共用会議室の規模と配置を検討**
- 県民スペース等のその他機能についても、機能・規模を検討し配置。
- 知事局棟との連携を考慮した**渡り廊下位置**を検討

1 新庁舎棟の機能

- 議会機能は新庁舎棟に整備する。
- 主要な災害対策機能**については、面積規模、天井高さなど、設置の自由度を考慮し、**新庁舎棟に整備**する。
- 防災用の会議室**については、知事局棟への配置も含め適切な規模や配置を検討する。
- 県民協働機能**は、設置の自由度やオープンスペースとの関係を考慮し、**新庁舎棟への整備**を想定する。



2・3 災害対策機能と議会機能の位置について

- ・新庁舎で大きな面積を占めることとなる、**災害対策機能と議会機能との適切な配置の関係（低層/中層～高層への配置）について整理した。**
- ・整理の結果、災害時の人や物資の動線を考慮すると**災害対策機能は低層階**に設置することが望ましく、動線や構造の制約を考慮すると、**議会機能は上層階**への設置が望ましい。

災害対策機能		 低層に災害対策機能	 中間～上層に災害対策機能
	メリット	・外部や知事局棟からの資機材搬入や人員集結、移動が迅速に行える。 ・上層階への庁内動線と災害対応動線の交錯が少ない	・庁内の上下階との関係部署との連携が図りやすい
	デメリット	・低層階の活用範囲に制限	・資機材の搬入や人員の移動がしにくい（EV停止のリスクあり）
議会機能		 低層に議会機能	 上層に議会機能
	メリット	・「開かれた議会」を表現しやすい ・傍聴者や関係者がアクセスしやすい	・議会動線と行政庁舎利用者動線が交錯しないため、議会の独立性が担保できる
	デメリット	・議会の独立性を感じにくい。 ・議会動線と行政庁舎利用者動線が交錯する ・議場（大空間）の整備に当たり、構造的な配慮が必要	・エントランスから離れるため、傍聴までの動線が長い ・心理的な距離も遠くなる

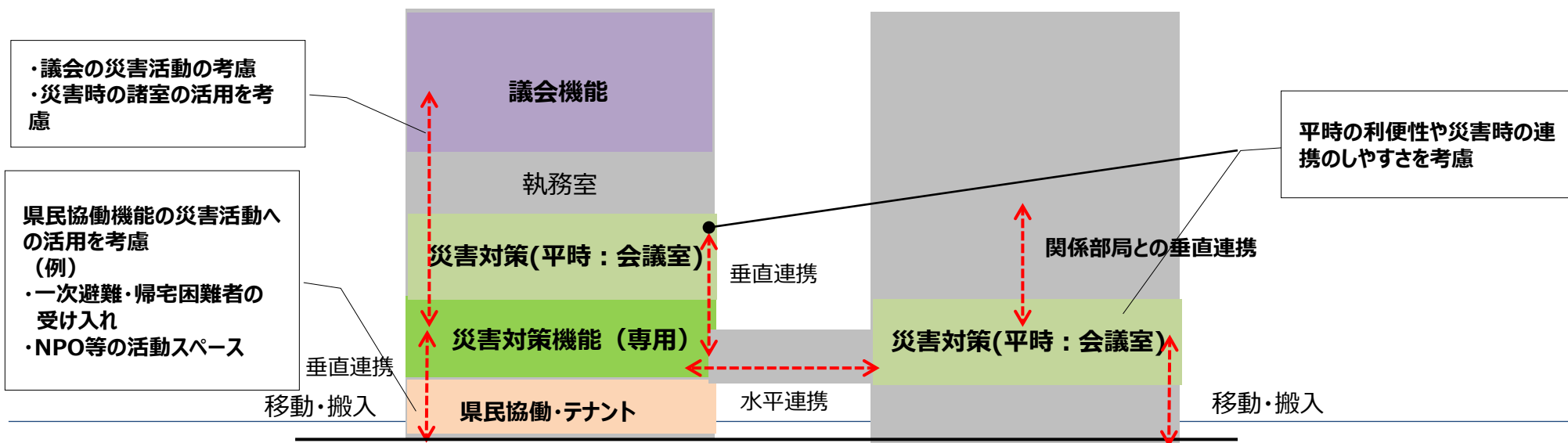
4 各機能との関係整理

災害対策機能（専用）と会議室等（共用）との配置の関係性

- ・災害対応への転用を想定する会議室等は、災害対策機能と近接していることが望ましく、相応の面積が必要と想定される。
- ・一方、平時の会議室は執務室との近接性を考慮する必要がある。
- ・これらを考慮し、災害対策機能と会議室の関係性について、新庁舎内での垂直連携や知事局棟との水平連携が取れるような配置を今後検討していく。

県民協働機能との関係性

- ・新庁舎の低層階には県民協働機能（エントランス空間、コワーキング、セミナー・イベントスペース、会議室等）の設置を検討している。
- ・これらの機能についても、災害活動等への転用や連携の可能性について検討していく。



5 新庁舎棟の基準階（コア配置）の考え方

・新庁舎棟の基準階の検討にあたっては、敷地や配置による制限、防災機能や議場といった大空間に配慮しながら、柔軟な執務空間を実現するコア配置を検討する。

基準階検討の観点

① 議会スペースの確保

- 大空間である議場の確保
(現議場：22.4m×19.2m程度)
- 議会関係諸室のレイアウトのしやすさ
- 議会のセキュリティゾーニング

② 働きやすく、更新のしやすい執務室の確保

- 部局レイアウトの柔軟性
- 部署間の連携性の向上

③ 執務環境の確保

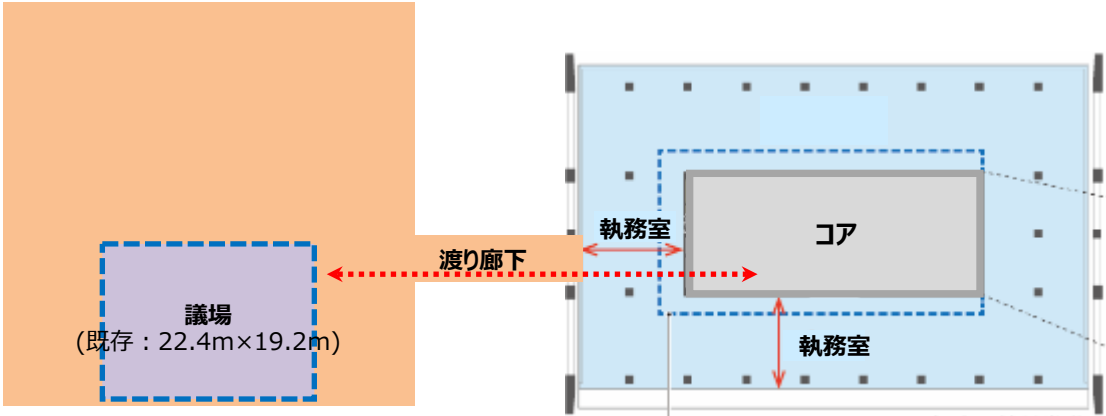
- 環境負荷を抑えた執務室配置
- 自然採光・自然通風の確保による快適性

④ 効率的な動線務計画

- 議会への独立動線（議員・傍聴席）
- コア（エレベーター等）から動線短縮
- 知事局棟との連携のしやすさ（エレベーター・渡り廊下）
- 災害時の防災機能への連携のしやすさ

・一般的なコア配置

	センターコア	片側コア	両端コア	両端中央コア
議会機能	議場確保は工夫が必要	議場の確保がしやすい	議場の確保がしやすい	議場の確保がしやすい
執務室	柔軟なレイアウトは限定 部署連携は限定的	柔軟なレイアウト可 見通しがよく部署連携しやすい	柔軟なレイアウト可 見通しがよく部署連携しやすい	柔軟なレイアウト可 見通しがよく部署連携しやすい
執務環境	全面での自然採光換気 開口部が最も大きく日射負荷大	3面での自然採光換気 開口部が大きく外部負荷大	2面での自然採光換気 東西の日射負荷が軽減される	全面での自然採光換気 開口部が大きく外部負荷大
動線	コアから執務室への動線が短い	コアから執務室への動線が短い	コアどうしをつなぐ廊下が必要、左右のコアによる独立動線が作りやすい	コアどうしをつなぐ廊下が必要、左右のコアによる独立動線が作りやすい



知事局棟基準階